

# 社会福祉施設における 労働安全衛生研修会

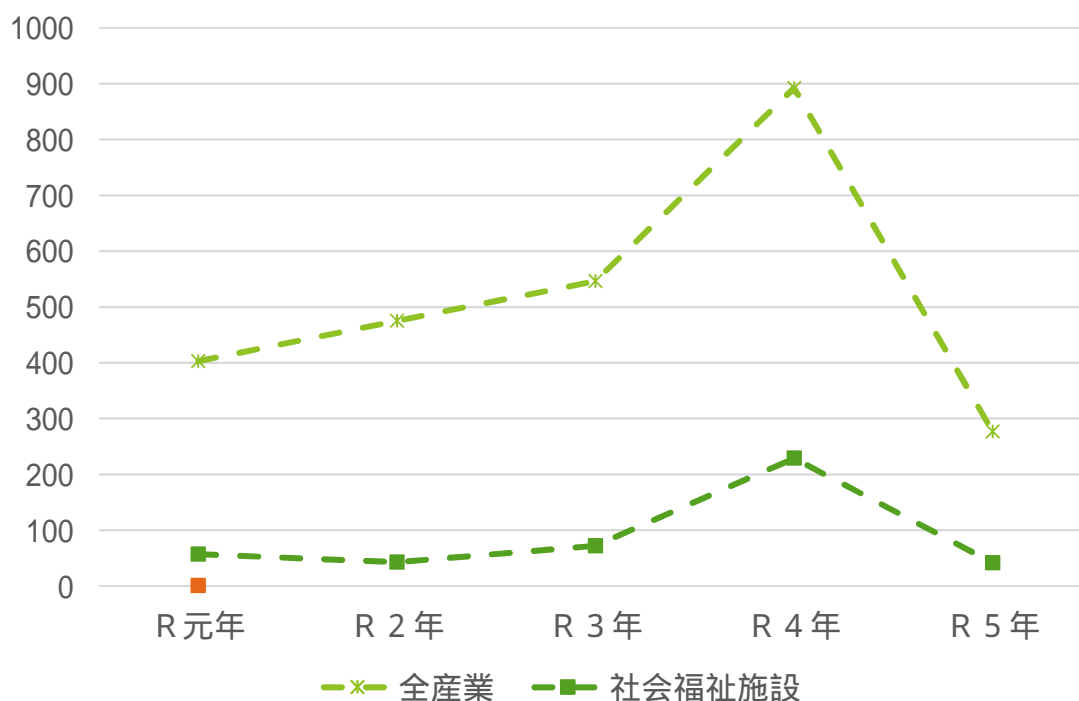
～ 労働災害発生状況 ～

令和5年10月12日(木)  
尼崎労働基準監督署

# 社会福祉施設における労働災害発生状況

尼崎署に提出された労働者死傷病報告（休業4日以上）を集計。

## （1）労働災害発生状況の推移



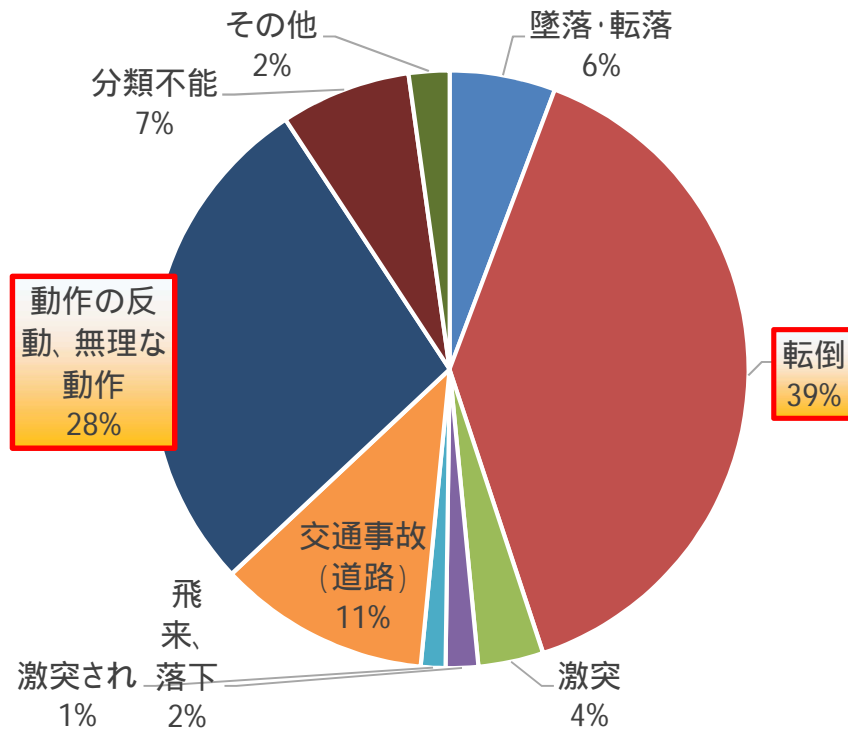
新型コロナ関連を含むため、急増している。  
新型コロナ関連を除くと、微増。

注）R元年からR4年は確定値。R5年は8月末時点。  
新型コロナ関連を含む。

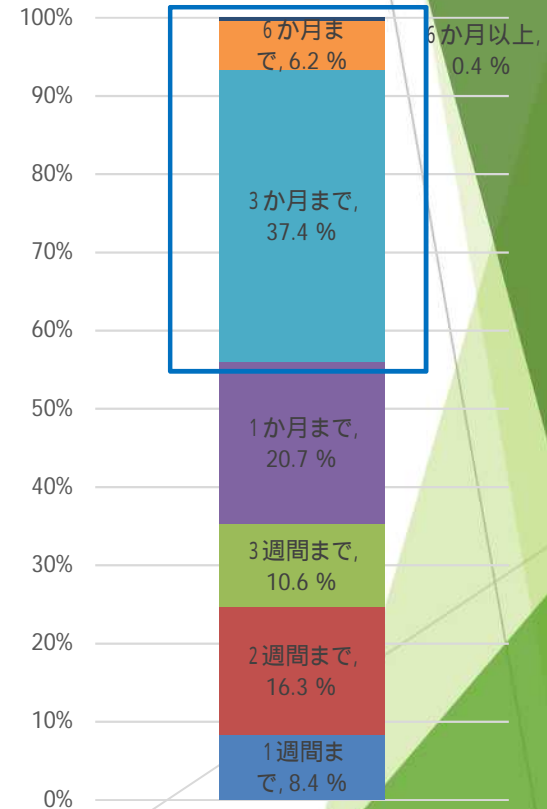
## (2) 事故の型別と休業見込み日数

平成31年1月1日～令和5年10月3日提出分までの期間で、  
 尼崎署に提出された労働者死傷病報告を集計。(業種：社会福祉施設)  
 (新型コロナ関連を除く227件を集計)

事故の型別



休業見込み日数

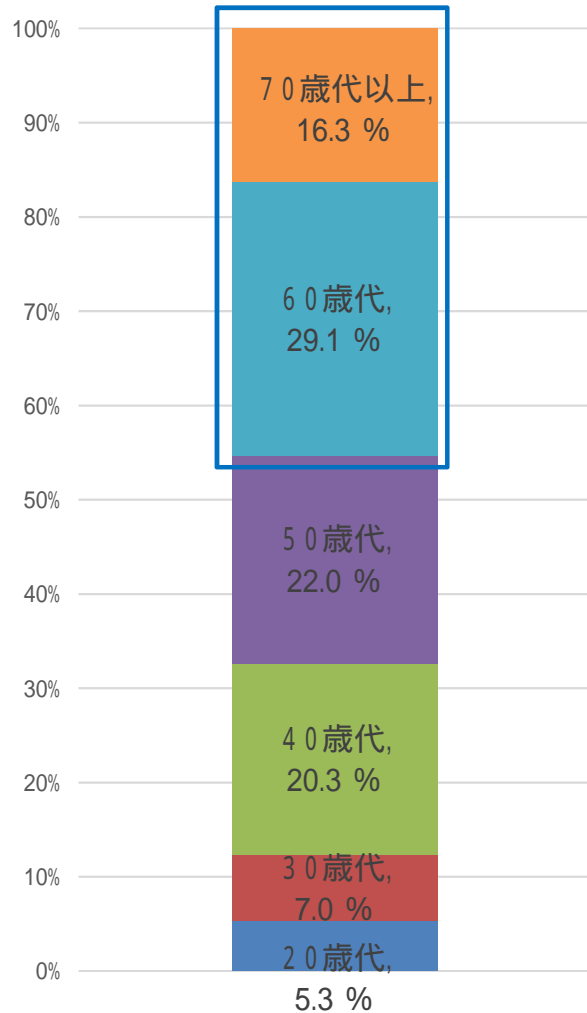


「転倒」と「動作の反動、無理な動作」で6割近くを占める。  
 注)「動作の反動、無理な動作」は、腰痛や筋を違えたものなど。

休業期間が長くなる傾向である。

### ( 3 ) 被災者の年齢

平成31年1月1日～令和5年10月3日提出分までの期間で、  
尼崎署に提出された労働者死傷病報告を集計。(業種：社会福祉施設)  
(新型コロナ関連を除く227件を集計)

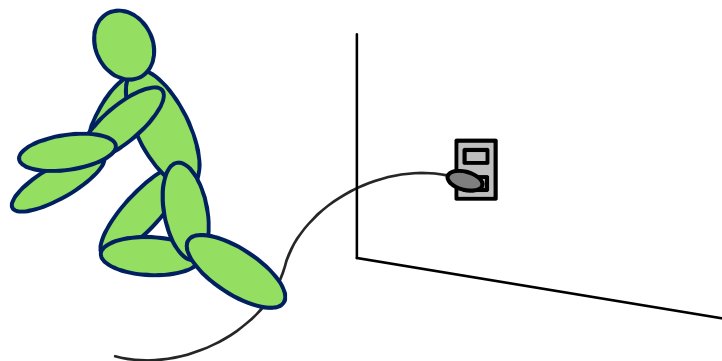


被災者の年齢は、高年齢になっている。

## 災害事例 1

介助のため訪れた利用者居室内で、  
歩行中にコードに引っ掛かり、転倒した。

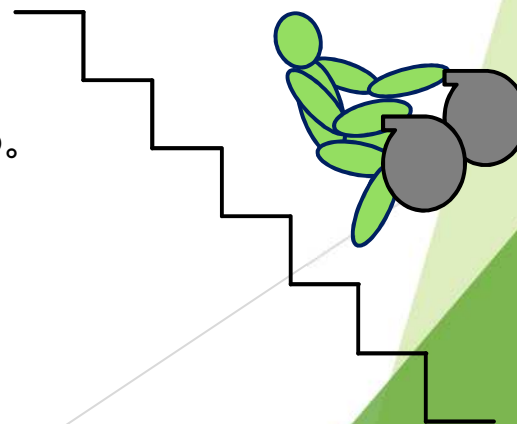
慣れない場所での作業であることに留意しましょう。  
KYT等で、感受性を高めましょう。



## 災害事例 2

両手に荷物を持って、駆け降りたところ、  
足を踏み外して滑り落ちた。

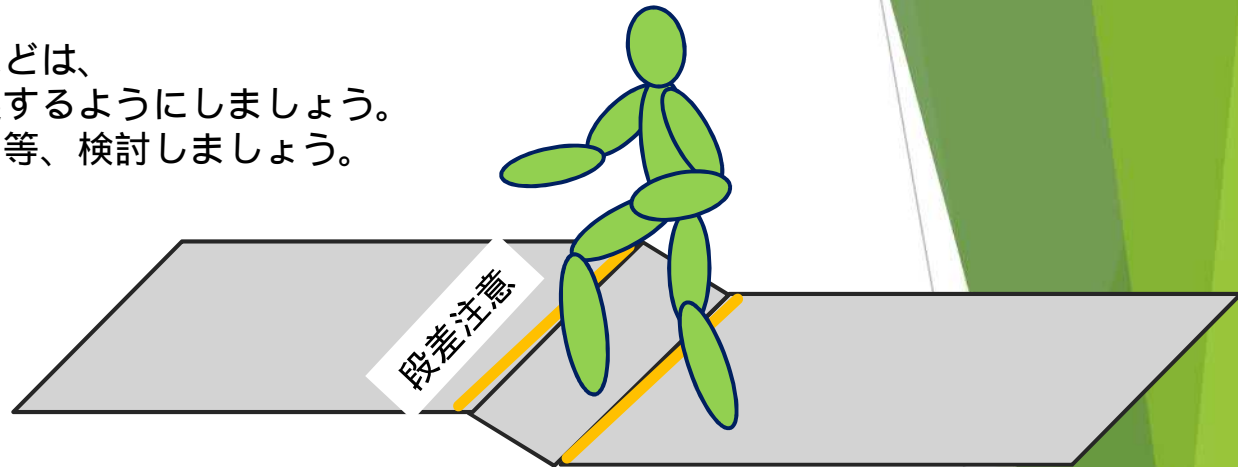
走らずに降りましょう。急ぐ時ほど手順を守って。  
手すりを持てるように、荷物は片手までにしましょう。



### 災害事例 3

施設内の通路を歩いていて、段差を乗り越えられず、転倒した。

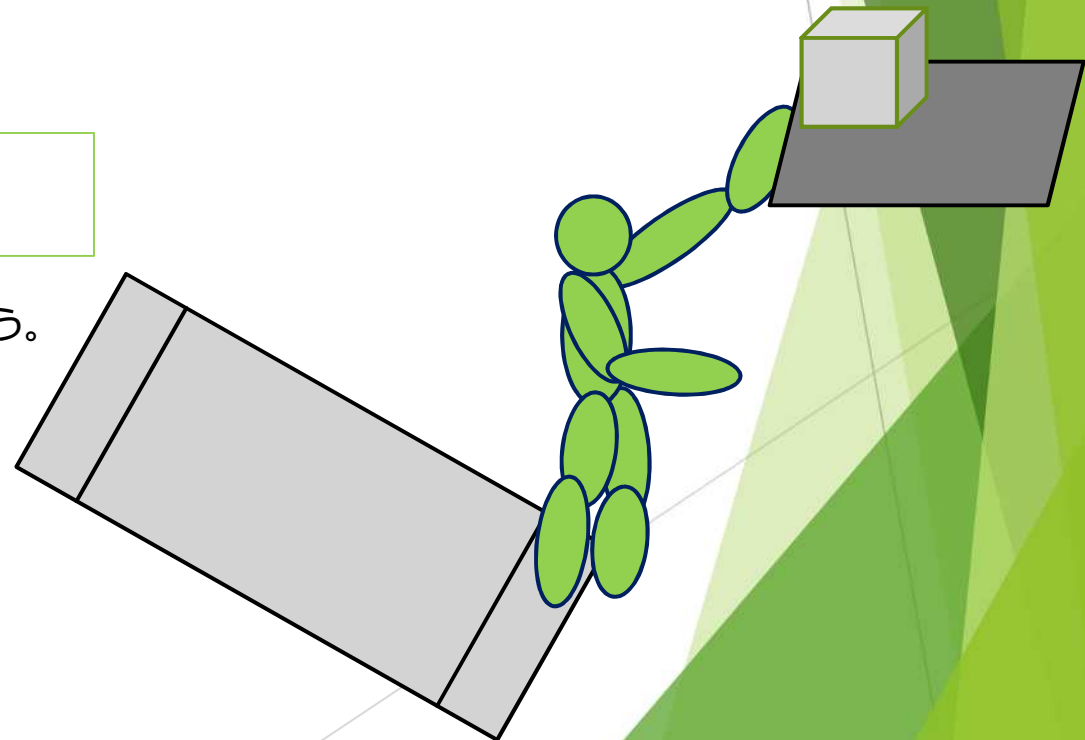
転倒のおそれのある場所などは、目立たせたり、注意を喚起するようにしましょう。仕事始めに準備体操をする等、検討しましょう。



### 災害事例 4

棚の物品を取ろうとしていて、シートに足がとられ転倒した。

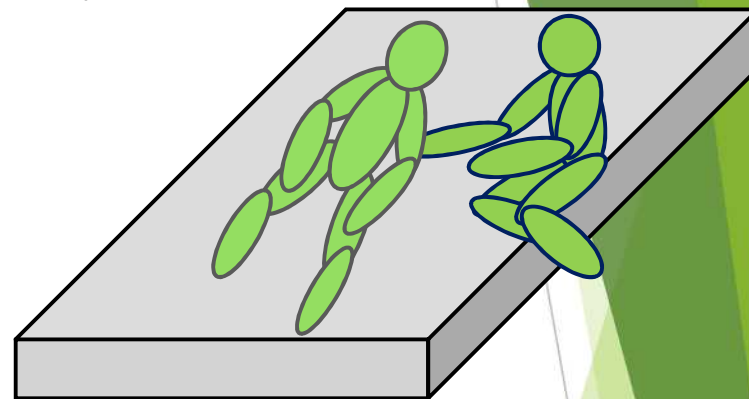
バックヤード等も整理整頓しましょう。無理な体制で取ろうとせず、踏み台などを使うようにしましょう。



## 災害事例 5

ベッドの上の利用者の位置調整のため、身体をずらそうとしたときに、腰を痛めた。

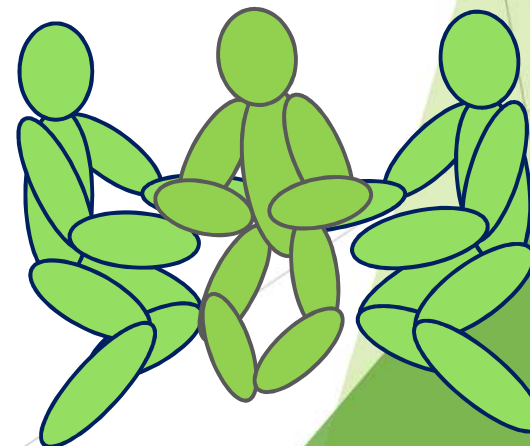
体勢の換え方など、  
職員の身体にも負担のかからない方法を検討しましょう。



## 災害事例 6

職員2人で、利用者を両側から抱きかかえて持ち上げようとしたところ、タイミングが合わず、腰を痛めた。

声で合図をする等、  
呼吸を合わせるようにしましょう。



# ご安全に！

## 労働安全衛生の取り組みを 引き続き よろしくお願いします。

労働安全衛生法関連の規則等の一部のみを説明しています。  
本日の内容を取っ掛りとして、勉強していただければ幸いです。

利用者のみならず、職員の安全衛生も、取り組みましょう。